



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 電響社

コード番号 8144 URL <http://www.denkyosha.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤野 博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 辻 正秀

TEL 06-6644-6711

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	33,389	△0.8	558	△49.0	1,144	△31.9	707	△25.2
24年3月期第3四半期	33,664	9.8	1,096	140.5	1,680	78.7	944	81.7

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 585百万円 (△25.5%) 24年3月期第3四半期 786百万円 (94.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	56.37	—
24年3月期第3四半期	75.31	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
25年3月期第3四半期	32,577		21,592		66.3	
24年3月期	28,657		21,259		74.2	

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 21,592百万円 24年3月期 21,259百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	10.00	—		
25年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,500	0.9	500	△46.3	1,350	△22.3	700	△25.3	55.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	13,330,042 株	24年3月期	13,330,042 株
② 期末自己株式数	785,421 株	24年3月期	782,711 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	12,546,459 株	24年3月期3Q	12,548,257 株

25年3月期3Q

13,330,042 株

24年3月期

13,330,042 株

25年3月期3Q

785,421 株

24年3月期

782,711 株

25年3月期3Q

12,546,459 株

24年3月期3Q

12,548,257 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気の持ち直しが見られたものの、欧州の債務危機による海外経済の下振れや新興国経済の減速、円高の長期化とアジア近隣諸国との関係悪化による企業収益への影響、原発再稼働の問題と電力不足が個人消費に与える影響など、依然として景気の先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要販売先である家電販売業界におきましても、薄型テレビを中心とした映像関連商品が台数減と単価下落で大幅な減収となる中で、価格・サービスによる企業間競争も益々激しさを増し、大手家電量販店の合従連衡の動きがあるなど、厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループにおきましては、消費者が求めている商品の発掘と取引先への提案、並びにオリジナル商品の開発等を強化する一方、当社と連結子会社の大和無線電器株式会社、梶原産業株式会社の3社共催による合同商談会も引き続き実施するなど、積極的な営業施策も進めてまいりました。しかしながら、前年同期間における東日本大震災に伴う復興・節電関連需要と猛暑による夏物商品の反動をカバーするには至りませんでした。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は333億8千9百万円で前年同期比0.8%の減収となりました。

利益面におきましても、オリジナル商品の販売強化等により一定の利益確保を図りましたが、販売費の増加等もあり、経常利益は11億4千4百万円で前年同期比31.9%の減益となり、四半期純利益も7億7百万円で前年同期比25.2%の減益となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は197億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億1百万円増加いたしました。

これは主に、受取手形及び売掛金で34億4千万円、たな卸資産で9億1千5百万円増加した一方で、現金及び預金で2億9千4百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、128億1千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ8千万円減少いたしました。

これは主に、有形固定資産で1億2千4百万円減少した一方で、無形固定資産で2千7百万円、投資その他の資産で1千6百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産合計は325億7千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億2千万円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は100億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億8千8百万円増加いたしました。

これは主に、支払手形及び買掛金で34億8千2百万円、短期借入金で9億円増加した一方で、未払法人税等で3億8千6百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は8億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1百万円減少いたしました。

これは主に、長期借入金で1億7千8百万円、繰延税金負債で7千7百万円、負ののれんで3千3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は109億8千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ35億8千7百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は215億9千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億3千3百万円増加いたしました。

これは主に、利益剰余金が4億5千6百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が1億2千1百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.3%（前連結会計年度末は74.2%）となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月2日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産及び賃貸固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,013	3,718
受取手形及び売掛金	8,149	11,589
有価証券	416	259
たな卸資産	2,311	3,226
その他	877	975
貸倒引当金	△9	△9
流動資産合計	15,758	19,759
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	484	433
土地	1,954	1,871
その他（純額）	43	52
有形固定資産合計	2,482	2,357
無形固定資産		
のれん	251	237
その他	84	125
無形固定資産合計	335	363
投資その他の資産		
投資有価証券	2,501	2,322
賃貸固定資産（純額）	3,817	3,887
長期預金	3,246	3,358
その他	517	530
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	10,081	10,097
固定資産合計	12,899	12,818
資産合計	28,657	32,577

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,686	7,168
短期借入金	1,200	2,100
1年内返済予定の長期借入金	237	237
未払法人税等	504	118
引当金	164	64
その他	409	402
流動負債合計	6,203	10,092
固定負債		
長期借入金	254	76
退職給付引当金	345	334
負ののれん	88	55
その他	506	426
固定負債合計	1,194	892
負債合計	7,398	10,985
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,644	2,644
資本剰余金	2,560	2,560
利益剰余金	16,267	16,723
自己株式	△430	△431
株主資本合計	21,042	21,497
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216	95
その他の包括利益累計額合計	216	95
純資産合計	21,259	21,592
負債純資産合計	28,657	32,577

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	33,664	33,389
売上原価	28,360	28,425
売上総利益	5,304	4,963
販売費及び一般管理費	4,207	4,404
営業利益	1,096	558
営業外収益		
受取利息	19	18
受取配当金	43	45
仕入割引	537	523
投資不動産賃貸料	215	203
負ののれん償却額	33	33
その他	55	90
営業外収益合計	904	914
営業外費用		
支払利息	12	9
売上割引	183	199
不動産賃貸原価	86	81
為替差損	34	—
その他	3	37
営業外費用合計	320	328
経常利益	1,680	1,144
特別損失		
投資有価証券評価損	25	—
固定資産除却損	3	—
特別損失合計	28	—
税金等調整前四半期純利益	1,652	1,144
法人税等	707	437
少数株主損益調整前四半期純利益	944	707
四半期純利益	944	707



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	944	707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△158	△121
その他の包括利益合計	△158	△121
四半期包括利益	786	585
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	786	585
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。